

病院内でのマスク着用継続のお願い

2023年2月15日

六甲病院院内感染対策委員会

1. マスク着用に関する国の考え方

2023年2月10日、政府は新たな「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針[※]」を示しました。この中で、3月13日以降のマスクの着用について、「着用は個人の判断に委ねることを基本」としつつ、マスクの着用が効果的な場面として①医療機関受診時 ②医療機関や高齢者施設等への訪問時 ③医療機関や高齢者施設の従事者の勤務時などを示し、感染防止対策としてのマスクの着用を推奨しています。さらに、「事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容される」として、病院などに対して適切に感染防止対策を行うことを求めています。

※「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和5年2月10日変更）」
新型コロナウイルス感染症対策本部決定

2. 六甲病院の新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの取り組み

六甲病院では、国内流行第一波の2020年4月から新型コロナウイルス感染症に罹患した患者様の受け入れを開始し、入院診療および外来での診療を行ってきました。同時に、他の疾患の患者様の診療を普段どおりに継続するために、病院内に入るすべての人（職員、患者様、訪問者等）の健康状態の確認・マスクの着用・手指消毒、さらに疑いがある場合の早期の検査を行うことで、いわゆる院内クラスターの発生の防止に努めて参りました。しかし、感染力が著しく強くなったオミクロン変異株の流行によって、残念ながら昨年夏に2回の院内集団感染が発生しました。いずれの事例も、無症状の人からの感染がクラスターのきっかけとなっており、この疾患の予防対策の困難さを痛感しております。

ただ、これまで院内感染の発生を最小限に留めることができているのは、皆様の感染対策へのご協力によるものと考えております。深く感謝いたします。

3. 六甲病院でのマスク着用を含む感染予防対策の継続について

政府は今年5月以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけをインフルエンザと同様の5類相当に変更することを示しています。しかしながら、法律上の位置づけは変わっても、ウイルスの感染力や院内感染のリスクが変わるわけではありません。当院では、院内に入るすべての人について、下記の感染予防対策を継続する方針です。

- ▶ 院内に入る際の健康状態のチェック
- ▶ 手指消毒
- ▶ 院内での常時マスク着用（不織布マスクを推奨）

お手数をおかけいたしますが、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。